

武豊町議会議長 石川 よしはる 殿

武豊町議会議員 梶田 進

一般質問の通告について

令和7年第3回武豊町議会定例会において、次のように質問したいから通告します。

質問事項	質問の要旨(具体的にご記入願います)
<p>1. 育休時の園児退園について</p>	<p>【趣旨説明】</p> <p>「知多半島で一番子育てしやすい町」づくりを目指す、鳥羽悠史町長の大切な施策(公約)です。子育てには妊娠、出産、保育、医療、教育など多くの段階を経て子どもは成長していきます。核家族化が進む中で、子育ての大きな負担が母親に架かっているのが実情です。</p> <p>働く母親が子どもを保育園に預け、勤務を継続することが家計の必要からだけではなく、社会的にも重要になっています。しかし、子どもを保育園に預け、第2子、第3子を設けることは、母親の勤務を継続、子育てする上で、大変な苦労がかかることとなります。その一つに、現在、武豊町では第2子以降の出産で育児休業を取得した場合、在園中の園児の退園が求められることにあります。核家族化の中で、奮闘する母親の中には、産後うつを発症される方も見られます。</p> <p>鳥羽悠史町長が町長選挙に立候補した際発行された「まちづくりの政策提案集」で、Q &amp; A方式で、</p> <p>「共働きをしていますが仕事と子育ての両立が難しく何かあればママが仕事を犠牲にしなければいけません。仕事と子育てを両立させやすい環境を整えてほしいです。」に対して、「私も妻が3カ月間入院したときに仕事を犠牲にしながら、子育てを優先たことがあるのでお気持ちはよくわかります。延長保育の時間を20時までにする。子供が病気になった時の病児・病後児保育、高学年や休日でも預け児童クラブ、保育園をてぶらで登園できるようにしていくなど「仕事と子育てを両立しやすい」環境を充実させます。保育士不足・待遇改善に取り組んでいきます」。それ以外にも、公園の遊具が少ないという声も多いです。公園の遊具を充実させ、子育てしたくなる武豊を目指します。</p> <p>また、「頼れる家族が近くにおらず、自分だけで子育てするのが限界です。このままでは育児うつになりそうで、誰か助けてほしいです。」に対して「精神・発達障がいを持ち、自分だけでは育児が困難な親への支援を行います。町の負担でこころの専門家を派遣し、精神・発達障害の支援だけではなく、ヤングケアラー支援もします。・・・中略・・・精神・発達障害を支える家族も苦しい思いをしています。支える家族を支える仕組みも創ります。・・・後略」と町民に訴えておられます。</p> <p>子育てについてより充実した施策を述べられていますが、残念なことに、第2子、第3子を出産した場合、保育園に入園中の子どもがいて、育休をとった場合、2歳児以下の場合退園しなければならない規定になっています。この点について何も触れていないことが気になりましたので、それらの点について以下質問します。</p>

**【質問事項】**

- ① 過去5年間、0歳児、1歳児、2歳児、3歳児以上の園児が、保護者が育休を取得したことにより、退園した児童数はどのようになっていますか。
- ② いったん退園した園児が、育休終了時にはどのように復帰（復園）したか具体的に示されたい。
- ③ 育休により退園した園児の保育園で、その園に入園（補充された園児）した園児は何人いますか。
- ④ 保護者が育休を取得した場合、退園させなければならない理由は何ですか。
- ⑤ 各園の0～2歳児の定員はどのようになっていますか。3歳児以上の住基人口に対する園児定員数はどのようになっていますか。
- ⑥ 0～2歳児の入園希望者は、定員に対してどの程度おられますか。
- ⑦ 毎年の予算要望書で、すべての園で乳幼児保育を実施しよう要望していますが、どのように充実されてきていますか。